令和4年度 第4回 木更津市男女共同参画推進委員会 会議録

- 開催日時：令和4年11月8日（火）午後1時30分から2時
- 開催場所：木更津市役所 駅前庁舎8階 会議室1
- 出席者：（委員）佐伯康子、藤森けい子、白井弘子、石井溪、尾崎潤、竹内孝夫、石渡亮輝、河原林裕（敬称略）
（木更津市）野村オーガニックシティ推進課長、萱野係長、松木主任主事
- 議題及び公開又は非公開の別：
 - （1）共生社会に関する条例の制定について【公開】
 - （2）パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の創設について【公開】
 - （3）その他【公開】
- 傍聴人：なし

1 開会

（事務局：萱野係長）

ただいまから、令和4年度 第4回 木更津市男女共同参画推進委員会を開会いたします。本日の司会を務めさせていただきますオーガニックシティ推進課 萱野と申します。よろしくお願いいたします。

本日の出席委員数は12名中8名であり、半数以上の出席を得ておりますので会議は成立いたしました。

なお、鳥飼委員、影山委員、根本委員、小林委員より欠席の連絡がありましたので、ご報告いたします。

本会議は「木更津市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定により、会議は公開で行い、会議記録及び会議資料も公開となります。

それでは、附属機関設置条例第6条第1項により委員長が議長となることとなっておりますので、佐伯委員長に議長をお願いいたします。

2 議題1 共生社会に関する条例の制定について

（佐伯委員長）

では、議題の1 共生社会に関する条例の制定について を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

（事務局：松木主任主事）

前回の会議及び政策調整会議、総合政策会議でのご意見をもとに条例案をいくつか修正したところがございます。

前文の冒頭「すべての人は、生まれながらにして個人として尊重され、人種、国籍、信条、性別、性的指向、性自認、出身、職業、経歴、年齢、疾病、障害、経済状況や家族のかたちに

関係なく、自分らしく生きることが保障されています。」という部分について、憲法13条「幸福追求権」と14条「法の下での平等」の内容が1文の中に混在しており分かりにくい、また、「性的指向、性自認」については憲法上保障されているとは言い切れないとの指摘が総務課からありました。この点につきましては、第6条の差別的取扱いの禁止において属性の例示がされていることから、「全ての人、生まれながらにして個人として尊重されています。」と修正いたしました。また、「すべて」という部分がひらがなだったり漢字だったり混在しておりましたので、漢字に統一いたしました。

前回、河原林委員からいただいたご意見に、さきほどの「人種、国籍、信条、性別、性的指向、性自認、…」という属性を列挙した部分に「思想」を追加した方がいいのではないかというものがございました。他の例規とのバランスを考慮し、語句の意味を検討した結果、「思想」という語句を追加することといたしました。前文における属性の列挙は削除されましたので、第6条に追加しております。

前文に「障害」という記載があるが、一般的には「障がい」ではないかというご指摘を庁内からいただきました。障害の「がい」の部分については、第5次計画での標記及び市の組織である「障がい福祉課」の名称に合わせてひらがなの「がい」を用いた標記に修正いたしました。

前文で「家族のかたち等」、「いじめ等」、「経済状況等」と「等」を用いているが、理念条例なので全て列挙した方がいいのではというご指摘が庁内からございましたが、いじめ等の部分につきましては、今後新たな人権侵害のかたちが出てくる可能性をみて「等」についてはそのまま残しましたが、経済状況等の部分については削除いたしました。

前文の「インターネット等の情報通信を利用した心ない情報の拡散は、」という部分については、「インターネットを利用した心ない情報の拡散は、」と修正いたしました。

前文の最後の段落「彩り豊かな個性が集う多様性のある社会」の部分に「地域」を足し、「彩り豊かな個性が集う多様性のある地域社会」へと修正いたしました。

第2条の定義において、第6号に「合理的配慮」という項目がありましたが、この部分を第7条第2項に移動いたしました。「市は、基本的施策を通じて、合理的配慮が行われるよう取り組むものとする。」とされていたところを「市は、基本的施策を通じて、共生社会の実現に当たり、市民が日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切の市民が現に解消を必要とする障壁を解消するための必要かつ適当で負担が過重でない措置が行われるよう取り組むものとする。」という記述に修正いたしました。

第3条「共生社会の実現に向けた取組の推進は、市、市民及び団体が、」からはじまる文章について、「市、市民及び団体は、それぞれの責務を果たし、相互に協力しながら、次に掲げる理念に基づき、共生社会の実現に向けた取組の推進を行うこととする。」と修正いたしました。

第4条第2項の「市職員」という部分を「市の職員」と修正いたしました。

第5条「他の主体と協働して」という部分を「市民、団体その他の主体と協働して」という

記述に修正いたしました。

第7条第2号イ「公共の場におけるコミュニケーションの手段を多種多様化すること」という部分を「公共の場における多種多様なコミュニケーションの手段を確保すること」と修正いたしました。

第7条第3号「全ての人々が、自分らしく安心して暮らせるような多様性に配慮した社会環境等の整備に努めること。」の部分を他と合わせて「多様性に配慮した社会環境等を整備するための次に掲げる施策 ア 公共施設等におけるバリアフリー化、多言語対応、ユニバーサルデザイン対応等、全ての人に配慮した社会環境の整備に努めること。」と修正いたしました。

第7条第5号「共生社会に向けた推進体制の構築及び改善」の語尾に「に関する施策」を追加いたしました。

第8条の第1項から第3項までの「行政計画」という語句を「計画」に修正いたしました。

条例のタイトルは「木更津市彩り豊かな個性が集う共生社会づくり条例」と決定いたしました。

今後、12月議会の総務常任委員会協議会での説明を経て、12月中旬から1月中旬まで意見公募を実施し、3月議会での審議を経て制定という流れとなります。

私からは以上です。

(佐伯委員長)

ありがとうございました。河原林委員からのご意見などについて、修正を柔軟に加えていただいたようでございます。一度目をお通しになられて疑問などがございましたら、ご質問をよろしくお願いいたします。

(河原林委員)

第2条の5号のところなんですけど、資料3の解説に国籍、民族の後に言語を入れてもらったらいんじゃないかなと思ったのですがいかがでしょうか。

(事務局：野村課長)

今いただきましたご意見につきましては、総務課の法規担当と協議させていただき、結果につきましてはみなさんにお知らせしたいと思います。

(河原林委員)

第7条の3号のア、これだけ「の」が左にずれていますので、もう1文字右に移動してもらえればと思います。あと、3号のアと4号のイのところだけ「努めること」となっていて、他は「すること」になっているのですが、全体が施策を講ずるものとするっていうちょっと強制じゃないような形の文章の中にさらに「努める」という弱めるような言葉をわざわざこの2つ入れているのは私はなんとなく違和感を覚えるので、3号のアであれば「整備すること」4号のイについては「支援すること」というような言い方にしても十分なんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

(事務局：野村課長)

ありがとうございます。まず第3号のアにつきましては、公共施設等におけるバリアフリ

一化ですとか多言語対応やユニバーサルデザイン対応など、市が主体的に整備をしていく場合には予算措置というものが必要となってまいりまして、木更津市の場合は基本計画といった4か年の計画に基づいて中期財政計画の中で事業を実施していくということもあり、なかなか「支援すること」と言い切ってしまうとですね、財政的な担保がないままにするというのはうたいづらいという内部的な事情もございまして、当然やっちはいくのですけれども、計画年限も含めて「努めること」とあえて語尾を弱くしています。しかしながら、同じようなご意見は庁内からもございますので、整理して後ほどご回答申し上げます。

(河原林委員)

理念条例ということなので、財政的な裏付けをもって必ず施策をしなくちゃならないというものではないのかなという理解をしまして、それからするとちょっと弱いかなという気がします。

(事務局：野村課長)

理念条例という一方でですね、議会も含めてここにうたってある施策が十分に進んでいるのかといった進捗管理もしなければいけない部分もございまして、持ち帰らせていただきたいと思います。

(佐伯委員長)

他に何かございますでしょうか。

それでは次の議題に移らせていただきます。

3 議題2 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の創設について

(佐伯委員長)

議題の2 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の創設について を議題といたします。それでは、事務局からご説明お願いいたします。

(事務局：松木主任主事)

前回の会議及び政策調整会議、総合政策会議でいただいた意見をもとにいくつか要綱の修正がございまして。

要綱の第2条第4号、性的指向の「人の恋愛・性愛がいずれの性別を対象とするか」の部分について、「いずれの」を「どのような」に修正いたしました。

要綱の第1号様式(第4条関係)別紙「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓書に関する同意書」について、同意する本人の情報を記載する欄が宣誓者の欄の下にありましたが、これは同意書であることから本人の欄が先に来た方が分かりやすいため順番を入れ替えました。

要綱の第2号様式、第3号様式の証明書と証明カードの裏面「パートナーシップ・ファミリーシップの宣誓により家族となる者の氏名」の部分ですが「本宣誓により家族となる者の氏名」と修正いたしました。

その他、スケジュールについて、3月に記者発表、4月から制度スタートの予定でしたが、周知期間を1か月取った方がよいのではないかとのご意見がありましたので、2月の定例記

者会見で発表する方向で考えております。

庁内各課の提供可能なサービスにつきまして、照会を行いました。特に案が出てきませんでしたので、今後はこちらから該当する部署に提案して個別に協議していく予定です。

現在、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度に関する市民アンケートを11月15日(火)まで実施しております。資料を皆様にもお配りしておりますので、ぜひご協力お願いいたします。

今後、先進自治体の視察や当事者及び関係団体へのヒアリング、医師会との事前協議を行う予定です。こちらの進捗等につきましては、メールにてご報告いたします。

今後、12月中旬から1月中旬にかけて意見公募を実施し、大きな変更等がなければ2月下旬に報道発表という流れとなります。

私からは以上です。

(佐伯委員長)

ありがとうございます。記者発表を前倒しにさせていただいて周知の時間を長くしていただくなど、なかなか良い形での進め方なのではないかと思えます。

委員の皆様から何かご質問などがございましたらどうぞお願い申し上げます。

(竹内委員)

新聞で東京都がパートナーシップ制度をスタートしたという記事を読んだんですが、例えば今は千葉市、木更津市など市単位でやっていますけれども、もし千葉県がスタートさせるとなったときには調整が必要になるんですか。

(事務局：松木主任主事)

いろいろと調整が必要になると思えます。ただ見ている感じでは千葉県はしばらく作りそうにないように思います。条例についてもまだ全然検討していないと先日電話で話してらしたので、多分あと5年10年はないんじゃないかなと思えます。だからこそ市町村が先行して作っている状況なのだと思いますし、もし作るとなれば市町村にも意見を聞いてくると思いますので、その時にこうした方がいいんじゃないかといったことを主張していきたいと思えます。

(竹内委員)

行政サービスについて、照会しても出てこなかったとありましたが、何か腹案はあるんですか。

(事務局：松木主任主事)

よその自治体さんがやっていることなどで、できそうなことを個別に相談していくという形で進めていけば増えていくかなと考えております。

(事務局：野村課長)

庁内の関係各部の皆様は、職員研修は行ったんですけれどもまだ理解が進んでいない部分も見受けられますので、逆に言うと全国ではいろいろな自治体さんがいろいろなサービスを提供しているという事例をこちら側から提案させていただき、詰めていきたいと考えており

ます。

4 議題3 その他

(佐伯委員長)

事務局から報告事項などがありましたらお願いいたします。

(事務局：松木主任主事)

第5回の会議を本当は11月25日に行う予定だったんですが、皆様に審議していただく内容がほぼ全て終わってしまったので、第5回会議はなしということでお願いいたします。

その後、いろいろな変化等があると思いますので、それに関しては適宜メールで情報を皆様にお送りいたします。完全に出来上がるまでは見ていただけると幸いです。

最後に佐伯先生からひとこといただきたいのですが、よろしいですか。

(佐伯委員長)

今回はこれが4回目の会議ということでございます。考えてみますと、我々はとても重要なことを審議してきたと思います。忌憚のないご意見をいただいて、非常に活発な審議会であったと思います。本当に委員の皆様、ご協力ありがとうございました。そしてまた、市役所の皆様も我々の修正意見などに真摯に応えていただいて、いろいろ調整していただいて本当にご苦勞様でございました。どうもありがとうございました。

(事務局：萱野係長)

以上で令和4年度 第4回 木更津市男女共同参画推進委員会を閉会いたします。

委員の皆様、長時間にわたりどうもありがとうございました。お疲れ様でございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和4年12月1日

木更津市男女共同参画推進委員会委員長

佐伯康三